

**問** 市役所前の川に土砂が増え、しゅんせつ等の管理が必要と見えるが、市の考えは。

**答** 土砂しゅんせつについては市役所前から上流は完了し、下流は来年度までの完了を目指す。完了後に堆積状況を確認しながら再度計画する。



**農業問題について**

**問** 水田活用の直接支払交付金について、国は5年間の水張りルールを見直した。畑地化6年目以降、交付金の支援がなければ、多くの耕作放棄地が生まれる可能性があるが、市の対策は。

**答** 現在、国による新たな水田政策の詳細は示されていない状況である。本市としては今後示される情報を注視しながら、必要に応じて国等へ要望を行っていく。

**鳥獣被害について**

**問** 今年度、熊による多方面への被害が発生したが、市として今後どのような抜本的対策を考えているか。

**答** 本市では、今年度箱罾を5基増設、44基体制で捕獲を行い、11月末で昨年度より250頭多い300頭を捕獲している。今後は本格的な冬の到来となるが、警戒を緩めず対応することはもとより、猟友会や警察等関係機関と連携した活動に取り組みとともに、市民に対する意識啓発・注意喚起を粘り強く行い、人身被害及び農作物被害防止と併せ、熊が人の生活圏に出没しない環境づくりを進めていく。

質問した項目

- 総合運動公園の利用料金について
- 危機管理について
- 農業問題について
- 鳥獣被害について



録画配信はこちらから

浅石 昌敏 議員 (誠心会)

質問時間 30分

**問** 熊出没増加を踏まえた空き家の発生予防対策について伺う。

**答** 空き家の発生予防について啓発しているほか、今後は管理・利活用を一体的に推進する方策を検討していく。



**ふるさと納税について**

**問** 熊対策を目的としたふるさと納税は、地域の安全対策に必要な財源を確保するとともに、市民や支援者が取り組みに参画できる仕組みとして全国に広がっている。本市においても、熊対策に特化した制度導入を検討する考えはあるか。

**答** 本市では、ふるさと鹿角応援寄附金を基金に積み立て、総合計画に沿って、有害鳥獣被害防止対策に充当できる。今後は、熊被害の防止や捕獲対策への理解と賛同を広く

質問した項目

- 空き家対策について
- ふるさと納税について
- 国際交流について
- A L T (外国語指導助手)の雇用体制について

**国際交流について**

**問** 本市の財政状況を踏まえ、ショプロン市との交流事業について、行政訪問団受け入れや語学指導員派遣の現状、今後の交流の方向性について市の考えを伺う。

**答** ショプロン市長とは、語学指導員の派遣継続のほか、交流の発展について合意に至っている。今後は限られた財源の中、交流事業の在り方を検討しながら、姉妹都市を有する利点を市民が実感できるように、市民交流の充実に努めていく。



録画配信はこちらから